

小国郷地域公共交通会議

平成21年月日設置 (小国町・南小国町)



人口
小国町 8,442人
南小国町 4,687人

地域公共交通の現状

南小国町及び小国町は文化的また経済的にも共通する点が多いため、南小国町及び小国町をひとつの地域(郷)として捉え、「小国郷」として今後の地域交通施策に取り組んでいくことが望ましく、地域公共交通総合連携計画事業は、この「小国郷」を広域的かつ発展的な地域交通の活性化につながる調査事業とすることを目的とします。現在の小国郷の地域交通は利用者ニーズに一致しておらず、運行時刻や運行経路の見直しが急務です。また交通空白不便地域も複数存在している状況です。さらに、黒川温泉など日本屈指の温泉地があるにもかかわらず、観光客にとって地域交通は利便性の良いものになっていないとも言えません。そのため温泉地にはマイカーでの訪問者が多く渋滞が発生することもあり、周辺に住まう地域住民の日常生活にも支障をきたしています。

調査事業の概要

調査内容

- ・小国郷の現況把握(人口動態、主要施設の立地状況、路線バスの運行状況等)
- ・既存バス路線の利用者ニーズ調査(利用者の属性及び利用状況・改善要望等)
- ・町民アンケート(公共交通の利用状況、潜在的需要の把握等)
- ・事業者ヒアリング(事業者の視点から見た交通網及び可能性等)

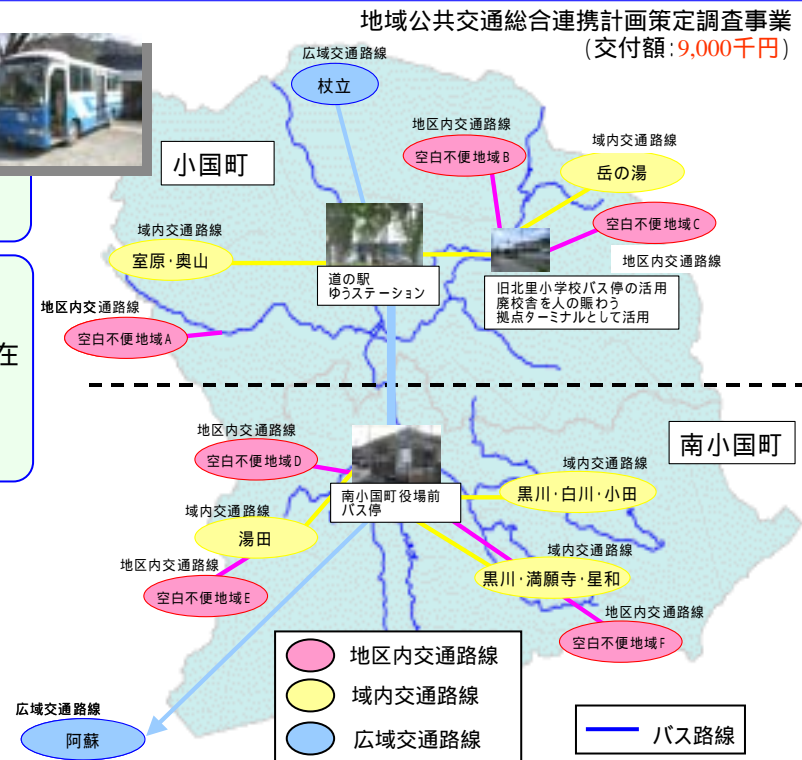


調査において明らかになった課題等

- ・路線バスは65歳以上高齢者(女性)の利用が多く、通院や買い物での利用が顕著
- ・現行の路線バスの運行経路や運行時間帯について、利用者ニーズと合っていない路線の存在
- ・山間部の小規模集落において交通空白不便地域が複数存在しており、当該集落では高齢者が多く移動需要が高い
- ・スクールバスと路線バスの系統が重複している

連携計画(案)に盛り込む予定の概要

- ・地域交通のネットワークの整備(公共交通サービスの連携強化等)
- ・拠点ターミナルの強化・環境整備・人で賑わう施策の展開(バス停の整備等)
- ・公共交通空白不便地域に、地域別に順応的かつ効率的な交通体系の構築(乗合タクシー及びデマンド型乗合タクシーの実証運行)
- ・路線バス及びスクールバス等の事業効率化(役割分担、ジャンボタクシー車両の活用等)
- ・地域が一体となって守り育てる地域交通体制の構築(住民主体の運営組織の設立)
- ・地域住民への地域公共交通に関する意識啓発活動及び情報発信(連携時刻表作成等)



地域公共交通総合連携計画策定調査事業 (交付額:9,000千円)

合意形成

協議会の体制: 連携計画策定に向けた協議会における役割を含め、各種調査の内容や調査方法、方向性等について協議会又は分科会に諮り、それぞれの調査事業における実施状況等について報告、審議を行っている。

住民意見の反映方法: 交通会議の構成員には、各地域の行政区長が地区住民代表として含まれている。また、全世帯を対象とした町民アンケート調査も実施しており、広く住民の意見が調査事業に反映されるようになっている。

協議会開催数: 3回
(分科会両町1回)

総合評価

小国郷地域公共交通会議(法定協議会)及び各町の分科会を適切に開催し、小国郷(小国町・南小国町)における公共交通の現状や問題点・課題を、路線バス利用者へのアンケート調査や公共交通空白不便地域での住民ヒアリング調査、公共交通に関する町民アンケート調査、交通事業者ヒアリング調査等で幅広く把握したうえで、基本目標を適切に設定し、当該目標を達成するための事業を具体的に検討する等、連携計画の策定に向けて必要な調査を行い計画事業の実施に向け、地域関係者の実質的な合意形成を図った。



小国郷地域公共交通会議